



国立研究開発法人
水産研究・教育機構

プレスリリース

2025年7月29日

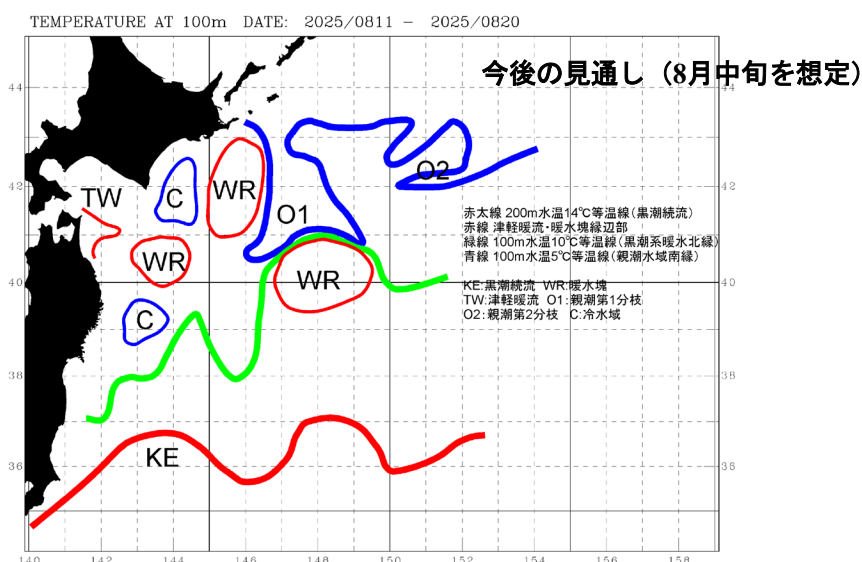
国立研究開発法人 水産研究・教育機構

2025年度 第3回 東北海区海況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所がとりまとめた結果 －

今後の見通し(2025年8月～2025年9月上旬)のポイント

- ・ 近海の黒潮続流の北限はやや北偏～かなり北偏で推移する。
- ・ 親潮第1分枝の南限は平年並み～やや北偏で推移し、三陸近海に冷水域が形成される。
- ・ 親潮第2分枝の南限はやや北偏～極めて北偏で推移する。



問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構

担当：海洋環境部（塩釜） 清水、笥

電話：022-365-1191、ファックス：022-367-1250

当資料のホームページ掲載先URL

<https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/>

2025年度第3回東北海区海況予報

《今後の見通し（2025年8月～2025年9月上旬）》

- (1) 近海の黒潮続流の北限はやや北偏～かなり北偏（北緯 $36^{\circ}30'$ ～ $37^{\circ}20'$ ）で推移する。
- (2) 近海の黒潮系暖水の北限はやや北偏～かなり北偏（北緯 $39^{\circ}10'$ ～ $40^{\circ}50'$ ）で推移する。
- (3) 釧路沖の暖水塊は停滞する。三陸近海の暖水塊は北上する。三陸はるか沖の暖水塊は西進する。
- (4) 親潮第1分枝の南限は平年並み～やや北偏（北緯 $39^{\circ}30'$ ～ $41^{\circ}10'$ ）で推移する。三陸近海に冷水域が形成される。
- (5) 親潮第2分枝の南限はやや北偏～極めて北偏（北緯 $40^{\circ}10'$ 以北）で推移する。
- (6) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは極めて弱勢（東経 $142^{\circ}30'$ 以西）で推移する。

《海況の経過（2025年1月～2025年6月）の特徴》

- (1) 近海の黒潮続流の北限はやや南偏～極めて北偏（北緯 $35^{\circ}50'$ ～ $39^{\circ}30'$ ）で推移した。
- (2) 近海の黒潮系暖水の北限はやや南偏～かなり北偏（北緯 $37^{\circ}20'$ ～ $40^{\circ}10'$ ）で推移した。
- (3) 2024年5月に三陸沖に形成された暖水塊は北東に移動し、釧路沖に停滞した。1月に金華山沖に形成された暖水塊は消滅した。3月に三陸近海に形成された暖水塊は北上した。3月に三陸沖に形成された暖水塊は消滅した。5月には三陸はるか沖に暖水塊が形成された。
- (4) 親潮第1分枝の南限はかなり南偏～極めて北偏（北緯 $37^{\circ}30'$ ～ 42° ）で推移した。
- (5) 親潮第2分枝の南限は平年並み～極めて北偏（北緯 $39^{\circ}30'$ ～ $41^{\circ}10'$ ）で推移した。
- (6) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しはやや弱勢～極めて強勢（東経 $142^{\circ}20'$ ～ $143^{\circ}30'$ ）で推移した。

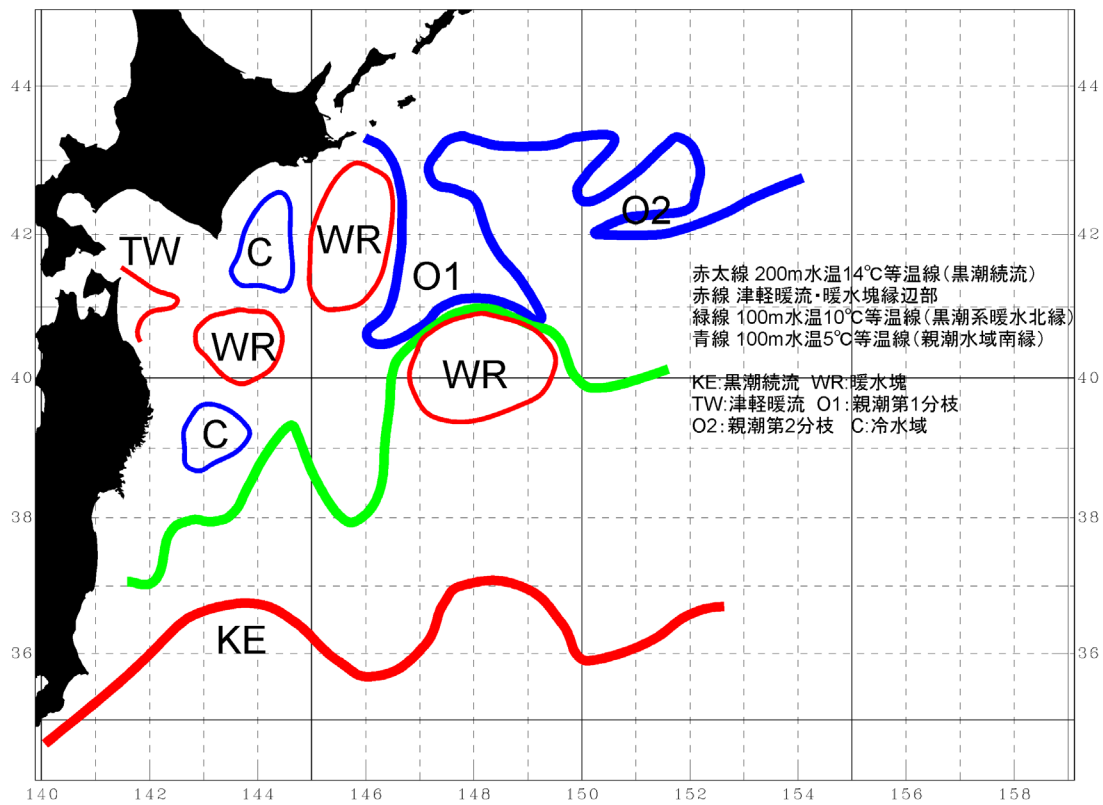
《現況（2025年7月上旬）の特徴》

- (1) 近海の黒潮続流の北限はやや北偏（北緯 $36^{\circ}40'$ ）である。
- (2) 近海の黒潮系暖水の北限はやや南偏（北緯 $37^{\circ}50'$ ）である。
- (3) 暖水塊が釧路沖130km、三陸近海180km、三陸はるか沖650kmにある。
- (4) 親潮第1分枝の南限は平年並み（北緯 $39^{\circ}50'$ ）である。
- (5) 親潮第2分枝の南限は極めて北偏（北緯 41° ）である。
- (6) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは平年並み（東経 143° ）である。

（注）この海況予報は、国立研究開発法人水産研究・教育機構により開発され、2022年3月より運用を開始したFRA-ROMSⅡシステムを用いた。FRA-ROMSⅡは、我が国周辺海域の海況経過を再解析し、2ヶ月先までの海況を予測する海況予測システムである。

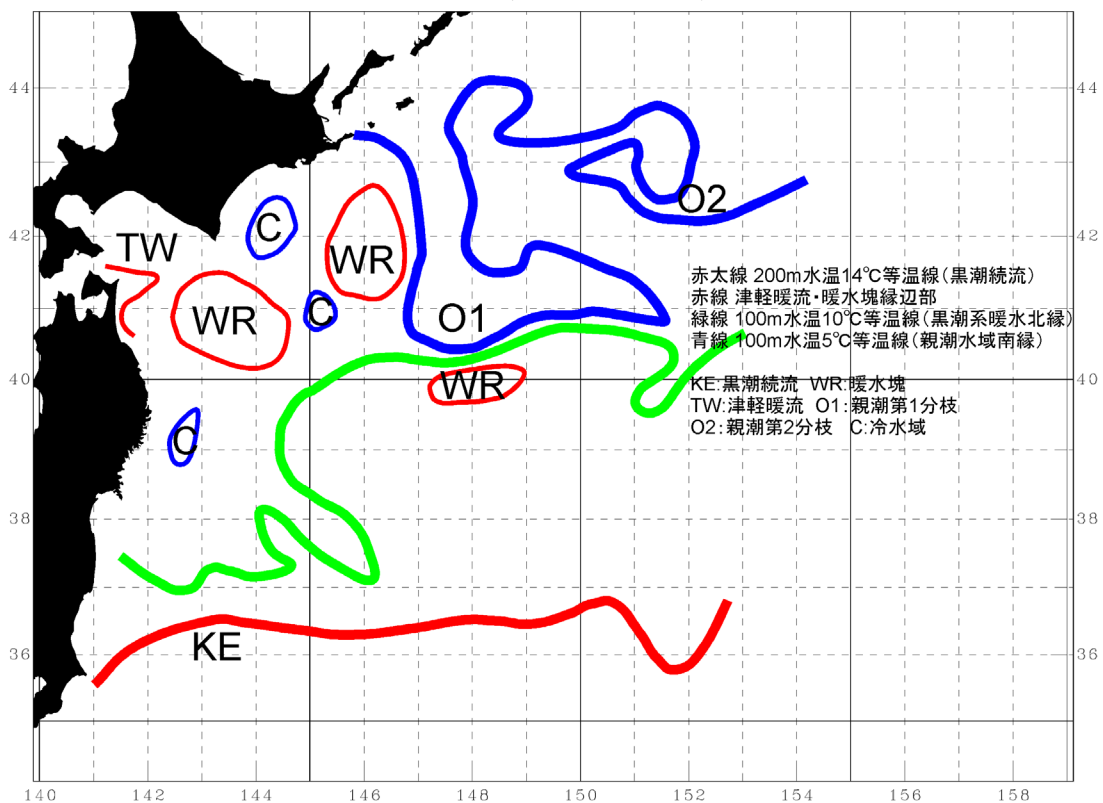
8月中旬予測水温分布図

TEMPERATURE AT 100m DATE: 2025/0811 - 2025/0820

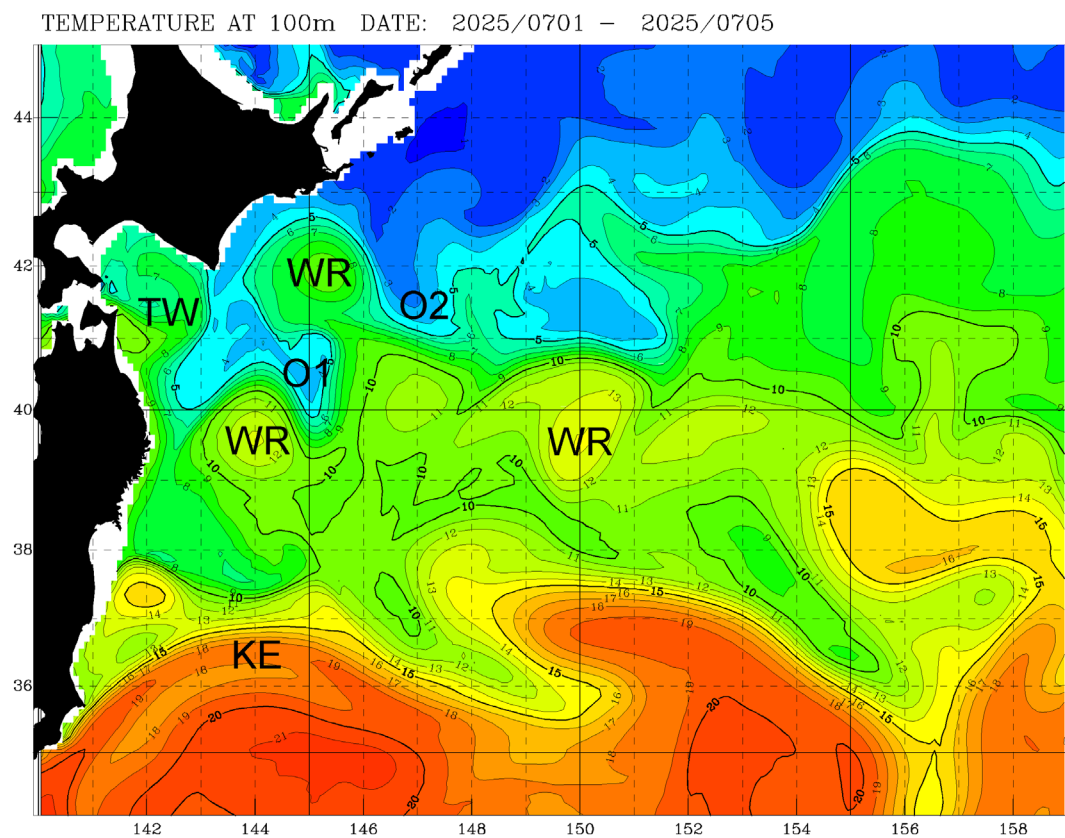


9月上旬予測水温分布図

TEMPERATURE AT 100m DATE: 2025/0901 - 2025/0906



7月上旬現況水温分布図（100m深）



図中の記号はそれぞれO1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流、WRが暖水塊、Cが冷水域を表している。

参 画 機 関

地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	(取りまとめ機関) 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所
岩手県水産技術センター	
宮城県水産技術総合センター	
福島県水産海洋研究センター	
茨城県水産試験場	